

SNK

SENIOR NET KUREME

編集発行: NPO法人シニアネット久留米
 発行人: 理事長 牟田慎一郎
 〒830-0851 久留米市御井町387
 府中公民館内 TEL: 0942-65-4545
 事務局mail: snkpost@view.ocn.ne.jp
 ホームページ: http://www.snk.or.jp

Vol. **80**



華やかな交流会の様子

交流会は会員の高齢化に伴い増える物故者の報告、ご冥福を祈り、黙祷からスタートしました。

牟田理事長の「社会活動も平常にもどってきました。シニアは顔と顔を突き合わせて話すのが元気の基、今日は大いに楽しみましょう!」とご挨拶。金子事務局長の乾杯の音頭。そして、そこかしこで更に乾杯! 乾杯!

新加入、再加入の5人の紹介と一言自己紹介。「やっぱりSNKだ!」「楽しい活動を!」。5人のSNKにける熱弁に皆さんが歓迎の拍手と喝采。

開会のセレモニーが一段落した頃合いを見



計らって、今年は田中、竹元お二人の宴会部長の司会による会員の演芸がスタート。

芸達者な会員の皆様が繰り出す演芸。時間の経つのを忘れて、素敵な歌声、演奏に酔いしれる。

サクスの演奏に軽快なステップの社交ダンス。天井が低いので、剣を扇子に替えて剣舞。観客が腹を振らせて笑いこけるひょっこり踊り。

最後は参加者全員で「月が出た出た月が出た、ヨイヨイ」の炭坑節を踊り、座席番号で当たる豪華賞品を貰い、「来年も元気で楽しみましょう!」と誓い、令和5年の交流会が終わった。

来年は早くから場所を決めて、多くの人が参加して準備をします。(理事会より)



SNKのデジタル活用支援推進事業「デジタル活用支援員」として取組開始

総務省は高齢者等が、人工知能や高度情報通信等のデジタル社会において、このデジタル活用の恩恵を受け、生き生きとより豊かで、快適な生活を送ることができるようにするために、身近な場所で身近な人からスマホやスマホを使うサービスの利用方法を学べる環境づくりを推進する「デジタル活用支援推進事業」を令和3年から実施しています。

その事業を担うのが「デジタル活用支援員」です。SNKは20数年前に「今からはパソコン、インターネット時代」として、地域の皆さんの活用と普及の旗振り役を務めて来ました。それがより手軽なスマホの時代となり、その性能はどんどん高度化し、便利なものとなりました。しかし、スマホを活用出来ない高齢者等がその恩恵から取り残されています。便利で安全なスマホの使い方をSNKの講師が身近な人として、高齢者等にスマホを教える。

SNKは「デジタル活用支援推進事業」の交付金を受け、会員の有志が「デジタル活用支援員」として地域の高齢者等にスマホの基本的な使い方や国や地方行政のオンラインサービ

スや申請を身近な場所で教えることになりました。SNKの実力が試されます。皆様の応援をお願いします。



<地域運営組織等による場の設定>

(講座内容)

- ・デジタル機器や基本アプリの使用方法
- ・ぴったりサービスを利用した行政手続のオンライン申請方法等

(SNK会員の講師)

- ・各講座のe-ラーニングと確認テストを受ける。
- ・集合研修(オンライン研修)を修了。

シニアネット久留米 (SNK) 賛助企業及び協賛団体

SNKの活動に暖かいご支援を頂いている企業、団体様です。会員の皆様、機会があればご利用をお願いします。

- | | | |
|-----------------|----------------------------|-------------------------|
| ● 岩田屋フード(株) | ● NPO法人 たんがく | ● おみその学校(有)カナダイ |
| ● 福岡安全センター(株) | ● 有機食品バイオジョイ | ● 比翼鶴酒造株式会社 |
| ● (有)くるめランチサービス | ● (株)アジア福岡パートナーズ AFP | ● (財)久留米観光コンベンション国際交流協会 |
| ● (株)筑邦銀行 | ● Just Plan (ジャストプラン) 合同会社 | ● シントミジャパン株式会社 |

令和5年度シニアネット久留米(SNK)総会・交流会開催

新型コロナウイルス感染症が5月8日から感染症法上の2類相当から5類への見直しが行われ、原則、季節性インフルエンザと同様の取扱いとなり、通常の生活となりました。それを待ったように、SNKの第23期通常総会、引き続き交流会が、5月28日久留米市シティプラザ4階スタジオ2にて開催されました。

第23期総会は午前10時30分より総会参加者18名、委任状参加43名、合計61名で成立し、牟田慎一郎理事長を議長に選任し、議事の進行が行われました。

- 1) 第1号議案: 令和4年度事業報告
- 2) 第2号議案: 令和5年度活動方針及び予算
- 3) 第3号議案: 令和5年度理事、監事選任

以上3つの議案は裁決の結果、賛成多数により承認されました。

令和5年度シニアネット久留米交流会

総会が終了すると、直ちに機の配置換え、受付を開始し、12時より、令和5年度交流会がスタートしました。

2月頃は第8波の新型コロナウイルス感染拡大で、連日感染者数、亡くなる方が過去最大を更新する報道が出ていましたが、理事会は5月8日から通常の生活に戻ることから、SNKの交流会も通常の形で開催すると決定して、会場探しをスタートしました。5月下旬の土曜日から日曜日の昼間、ホテル宴会

尚、下記事項の取組報告と指摘がありました。
 ・総務省の高齢者デジタル支援事業への取り組みについて
 ・農園事業部の廃止の件
 ・高良大社下宮社、御井校区コミセンとの関係を密に。
 ・新入会員のつなぎ止めの施策が必要。

・カブトムシの杜プロジェクト等の活動が個人に依存している。
 ・赤字財政からの脱出対策。

総会は会員の皆様が色々な疑問や活動の提案が出来る場です。多くの出席をお願いします。



場は既に予約済みばかり。適当な広さ、価格の場所がない。SNKの交流会は飲食をする。大声を出す、音楽を流す、楽器も弾く、歌も謳う、会議室ではだめ。105m2と少し狭いが防音性、遮音性が高い音楽、演劇の練習のスタジオで行うことにしました。気兼ねなく歌い、飛び跳ねることが出来る。交流会には36人が集まり、久しぶりの顔合わせ、SNKらしく直ちに明るく、愉快で楽しい交流の場となりました。井上健さん、皆を代表して、有難うございました。



かぶと虫の杜PJ かぶと虫相撲大会

7月23日(日)13時からかぶと虫の杜PJ(プロジェクト)は皆様の暖かいご支援のお陰で、久留米市教育委員会の後援を受け「かぶと虫相撲大会御井場所」を開催することが出来ました。

今年は例年より100匹多く、600匹の幼虫を配布しました。更に、その幼虫は元気が良く、多くの幼虫がかぶと虫となり、子ども達の宝ものの昆虫、命の学びになる。夏休みのスタートでその場を設けたら、子ども達の夏休みの思い出、学びの役に立つのではとの思いで開催しました。



自慢のかぶと虫を持って受付

かぶと虫の相撲大会出場者20人を含め来場者は43人、SNKのサポーターは15人。初めての開催としては大変盛り上がりしました。



かぶと虫の被り物を付けて

約20cmのクヌギ切り株の土俵を5セット設け、真中に餌を置く、その餌場でかぶと虫が闘う。他地域の相撲大会の動画を見て、準備万端。「はっけよい!残った残った!」



大きなかぶと虫のにらみ合い

準備した決まり手の勝ち名乗りを上げようと今泉さんが行司。

あれ、闘争心がないな? お腹満腹なのかな?土俵の外に出るかぶと虫ばかり。来年の宿題となった。

また、幼虫を育て、「御井町っ祭」でかぶと虫を売ることを目論んだが大失敗。興味のある子ども達は既に持っている。或いは、お母さんから「帰りに買う」と言われ、引っ張られて行って戻ってこない。横でオオクワガタを500円で売っている。

前任者から受け継いだ「子ども達が地域の竹林問題や環境、命の尊さを学ぶ手助けに徹する」。儲けは二の次。これを改めて、SNKの姿と実感しました。



御井町っ祭でかぶと虫販売

来年も地域の子も達にかぶと虫の幼虫を配り、子ども達が育てたかぶと虫で「かぶと虫相撲大会」を実施します。皆様のご支援とご協力をお願いします。

えーるピアのマナビランドに参加

マナビランドは、毎年11月の第2日曜日にえーるピア久留米(LLネットコアくめ:久留米生涯学習推進市民協会)で行われる子どものためのフェスティバル、お祭りです。

様々な体験コーナーなど見るだけではなく参加して、楽しさを味わえるイベントで家族やこどもが友達と一緒に楽しく遊ぶことが出来るものです。

1)開催日時:11月12日(日)10時から15時まで。

2)SNKの展示・体験等の内容

久留米の自然「かぶと虫とドングリ」

(1)展示:SNKは高良山をはじめとする里山の竹林の整備からかぶと虫の幼虫。そして、幼虫の配布活動、かぶと虫相撲大会などの写真展示、クヌギの植林活動のPR。かぶと虫の幼虫展示と販売。

(2)体験:ドングリのコマ、やじろペー製作、ふわふわ飛行機と楽しい遊びと学び。皆様、お孫さんを連れて、遊びに来て下さい。

久留米一番街多目的ギャラリーで、シニアネット久留米作品展

4月4日(火)から4月9日(日)久留米市一番街多目的ギャラリーで「シニアネット久留米作品展」を開催しました。

色々な趣味を持つ会員が自分の作品を持ち寄り、久留米市の皆さんや友人に観て、楽しんで貰う。そして、SNKの地域への発信と新たな仲間作りをすることを目的としました。

鳥、花、星座、雪山、流水等の写真、水彩、油絵の絵画、書や掛け軸、篆刻や木刻、俳句はがき絵、石ころ絵、木目込み人形、着物のリメイク作品、帽子、手提げ、日本刺繍・・・等多彩で光り輝く作品がずらりと揃いました。一部に十分にフォロー出来ず出展者にご迷惑をお掛けした。



片付け前に慌てて記念写真。来年も出展しよう!

尚、シニアネット久留米作品展は久留米市より、高齢者福祉の推進に資するとして久留米市後援となり、展示作業当日火曜日に毎日新聞、西日本新聞の女性記者が来館。水曜日の筑後版に掲載されました。

また、ギャラリー責任者から多くの来館者、感動の言葉が多いと大変良い評価を得ました。あの絵は、あのリメイク作品は売らないのか、何処で作品を作っているのか等の質問も多く有りました。

また、本会場でユニセフ(国連児童基金)への募金として、ウクライナ戦争で苦しむ子ども達へウクライナ緊急募金。トルコ・シリア大地震の自然災害緊急募金。かぶと虫PJ活動支援募金の三つの募金箱を置き、皆様の有り難いご支援をユニセフに郵便局から送金しました。

来年のシニアネット久留米作品展は4月23日から4月29日の7日間開催することで予約しています。今から展示作品の製作や作品選定をお願いします。



展示中のギャラリー風景

わくわく倶楽部 タンスに眠る思い出の着物が「わくわく」する衣装に変身する

丸山まつみ

リメイク講座が思わぬ形で立ち上がった。

きっかけは、4月に一番街多目的ギャラリーで開催された、シニアネット久留米作品展だった。

私も着物リメイクの製品を10数点出させてもらった。以外にもリメイクに関心のある方が多く、その服を買いたいとか、どこか教室があるのか等を尋ねられた。どこか販売出来る所はという話になり、

それならばリメイクグループを立ち上げてエールピアのイベントにバザー出店させてもらおう～ということととんとん拍子に話が進み4月末には第1回目の教室開催の運びになった。

一番街の展示会でお会いした太宰府の人も加わり、5、6人で和気あいあいと楽しいおしゃべりリメイクサロンがスタート!

「♪だれーが生徒か先生か〜♪」頼りになる仲間と共に楽しみながら、SNKの活動に繋いで行きたい。



教室での製作風景

それならばリメイクグループを立ち上げてエールピアのイベントにバザー出店させてもらおう～ということととんとん拍子に話が進み4月末には第1回目の教室開催の運びになった。



上の写真 スカートとキュロット



上の写真

セーターから作った帽子。緋の端布の五角形の帽子、可愛い兎さん



左の写真

愛着があり、手放せなかった大島紬と小紋を使ってリバーシブルベストに素敵に変身。

右の写真

男物の兵児帯。素敵なドレスになった。これを着て何処に出かけよう!



「生き生きシニア活動顕彰」

7月27日、福岡県庁においてニッセイ財団「児童・少年の健全育成助成」及び「生き生きシニア活動顕彰」贈呈式が開催されました。地域で活躍する16団体の助成・顕彰式があり、SNKは「生き生きシニア活動顕彰」を受賞しました。

大曲副知事は、受贈団体の皆さんに対し「助成・顕彰を受けられた団体の輪が広がっていくこと、皆さんの活動が活発になっていくことを祈っております。」と激励しました。福岡県青少年健全育成課HPより抜粋。



中央の大曲副知事の右側に座るのが牟田理事長

わくわく倶楽部「くるめフォーラム2023」

くるめフォーラムは、久留米女性週間事業です。性別や年齢に関係なく、誰もが自分らしく輝ける社会をめざして、展示、バザーを通して日頃の活動や成果をアピールする場です。男女平等社会づくりに関心を持ち、久留米市を中心に活動し、企画、実施、運営を責任をもってできる組織が参加します。

開催日:10月7日(土曜)、10月8日(日曜)
会場:えーるピア久留米内 久留米市男女平等推進センター
SNKの参加内容:

- 1)バザー:わくわく倶楽部がシニア女性のわくわくするリメイク作品等をバザーとして出店します。皆さん見に来て、わくわく倶楽部ブースを賑やかな場所をお願いします。
- 2)活動交流スペース:女性が彩り豊かなシニアライフを楽しんでいる活動。高齢者等が身近な場所で身近な人からデジタル活用について学べる「デジタル活用支援推進事業のスマホ教室」の紹介。本事業を通じて、SNKの講師が実際に高齢者等に寄り添い、助言や相談を行うことで、受講者の皆様のデジタル活用に関する不安を解消している状況を展示する予定です。